

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成29年8月24日(2017.8.24)

【公開番号】特開2016-84750(P2016-84750A)

【公開日】平成28年5月19日(2016.5.19)

【年通号数】公開・登録公報2016-030

【出願番号】特願2014-218166(P2014-218166)

【国際特許分類】

F 02 P 15/10 (2006.01)

F 02 P 3/05 (2006.01)

【F I】

F 02 P 15/10 3 0 1 B

F 02 P 3/05 D

F 02 P 3/05 E

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月13日(2017.7.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

マルチ放電制御手段4は、外部からの点火信号がハイレベルからローレベルへ遷移すると、当該点火信号と同期させて一次コイル通電信号をハイレベルからローレベルへ遷移させる。この一次コイル通電信号のレベル遷移によって、スイッチ手段3は開状態へ遷移し、一次電流を遮断する。ここで、外部信号(E C U等から入力する信号)によって定められる、初回の一次電流の通電時間(時間長さ)をt10とする。

通電時間t10は、後述する制御目標電流値よりも大きな一次電流が流れるように、2回目以降の一次電流通電時間よりも長く設定されたものである。

マルチ放電制御手段4は、一次電流検出手段5からの一次電流検出信号を入力して、一次コイル21に流れる一次電流の大きさを監視しており、後述する一次電流の定電流制御を行う。この定電流制御に先立ち、初回の一次電流の通電・遮断を、前述のように外部から入力した点火信号に応じて行う。換言すると、一次コイル通電信号の最初期部分は外部からの点火信号であり、初回の通電時間t10は当該点火信号を出力したE C U等によって設定された時間長さである。